

## “新学習指導要領を読み解く”① 新学習指導要領が発表されて

名古屋音楽大学特任教授(教職担当)

吉川 範行

### はじめに

「記載内容が整理され順番が並び替えられた。文字数が増え難しい言葉が並び、言葉の定義を自分なりにしなければと思った。でも、指導する教材等内容は変わっていない。今回の改訂ではあまり新しいことはないのでは？」3月末に示された新しい学習指導要領を目にしたとき、そんな第一印象を持ったのは私だけだったのでしょうか。

### 3か月が過ぎて

落ち着いて読み返してみると、いろいろな指導の工夫を求める背景が見えてきます。移行措置のパブリックコメント募集も締め切られ、小中学校の音楽科では来年度からの移行措置で新学習指導要領による指導も可となるようです。

全教科において3つの柱(①知識・技能②思考力・判断力・表現力等③学びに向かう力・人間力等)に目標が統一されることにより、評価の在り方も一体としたものになることに伴う議論や、そこに付けられた番号の順位制などについての議論も始まっています。

また「主体的対話的で深い学び」についてもいろいろな意見が聞かれます。雑誌教育音楽中学高校版では、「主体的対話的で深い学び」とアクティブラーニングはイコールではないという、目標と内容の関係性について論じています。3月の会報第18号で柴田先生が述べられた「お客さんを作らない方法としてのAL」につながる見方です。

新学習指導要領の音楽科解説編が出されることによって解決する部分もあるでしょうが、自分なりに現行のものと読み比べておくことが、新しい学習指導要領を読み解くことにつながるのではないのでしょうか。

### 不易の部分も大切に

このような中で、5月に「先生力をつける！待ち遠しい音楽授業のために」という本が出版されました。(橋本龍雄・松永洋介・吉村治広著 教育出版)

学習指導要領に触れた部分もありますが、ほとんどは「現実の子どもを見る」「教師自身の音楽や教育のとらえ方を見つめてみる」という不易の部分に目を向けています。53項目のうち4つを示してみました。第2回・第3回では、学習指導要領とかかわらせながらこのことについて述べてみたいと考えています。

- ① ノンバーバル(言語以外、非言語)・コミュニケーションに注目
- ② 音楽の授業の組み立て方～45分をどう乗り切るか～
- ③ 鑑賞指導～感想を書くだけの鑑賞指導からの脱出～
- ④ 音楽嗜好を活用する前に～「良さと好みの切断」から～

新しい学習指導要領を理解する事と不易の部分とを両輪として、バランスの良い音楽教育を進めていきたいと思っています。

### ♪♪平成29年度 総会・研修会・懇親会のご案内♪♪

【日時】 8月20日(日) 10:00～10:20(総会)、10:30～12:30(研修会)、13:00～15:00(懇親会)

【会場】 名古屋音楽大学 総会・研修会：ホールD O、懇親会：学園食堂

【講師】 名古屋音楽大学音楽学部長・教授 松下 雅人 先生(声楽家)

【テーマ】 『空間をふるわせる声』～生声で聴くオペラ～

～「旅立ちの日に」をジャズアレンジと生声で～

## 教育相談への道

前名古屋・野田小 伊藤 淳子(S55 卒)

現名古屋市子ども適応相談センター相談員

私の教員生活は、音楽専科から始まりました。

教育相談の道に進んでいったのは、ある子どもたちとの出会いが、きっかけでした。3校目に赴任した学校では、今までに接したことのない子どもたちがいました。子どもへの対応が分からず孤軍奮闘していましたが、教育センターの研修に教育相談の講座があることを知り、3年間研修に励みました。あらゆる子ども理解に関することを学んでいく中で、学校カウンセラーと、ガイダンスカウンセラーの資格も取得しました。

在籍校では、管理職の先生方の理解を得て、毎月事例検討会も行いました。生きにくさを抱えている子どもたちに合う学習の仕方や関わり方を一緒に考えていく中で、子どもの理解が深まっていきました。それにつれて、子どもへの声の掛け方や接し方が違ってきました。子どもの情報を共有する貴重な時間でした。

教育相談を勉強していくベースになったものは、音楽の練習で培った根気強さや繊細な感受性・表現への探求心であったと思います。

退職した今、相談員として不登校の子どもたちと関わっています。

## 教師になって

高浜市立南中学校教諭 浜田 麻衣(H29 卒)

教員として働き始めて約3か月が経ちました。慣れないことばかりで慌ただしい毎日ですが、周りの先生方や生徒に恵まれ、充実した日々を過ごしています。

今年度は、3年生の副担任をしているため、先日修学旅行の引率で東京方面に行ってきました。1日目は集合時刻に遅れてくる生徒がおり、きまりを守れない場面が多々ありましたが、最終日に近づくにつれ、だんだんと規律ある行動ができるようになり、生徒の成長を間近で感じることができました。

部活動は吹奏楽部の副顧問をしており、今は夏の大会で金賞を取ることを目標に、私も生徒と一緒に楽器を吹きながら指導しています。また、授業は1年生と3年生の音楽を担当しています。教材研究や指導法などに悩むことも多いですが、音楽教育法やリトミックなど大学の授業で教わったこと、トワイライトスクールやサークル活動など名音大で勉強したことが生かされているなど感じます。最近では生徒の顔と名前が一致するようになり、「前回の授業よりもアルトリコーダーが吹けるようになった」という感想を直接伝えてくれたり、授業が終わってから授業で歌った曲を一緒に口ずさんだりしています。

だんだんと生徒との距離が近づいてきて、このように音楽を通して生徒と関わることでできる時間が、今の私の最大の幸せです。これからも音楽を分かち合える時間を大切にしながら、目の前の生徒とともに成長していけるよう、努力していきたいと思っています。

### 教員の異動

7月10日現在、(SH 卒年) 名古屋市立は市名略、愛知県は市町村名記、他は都道府県名記< 当会把握分 >

#### 【教諭(本務)】

<退職> ~お世話になりました~ 池尻仁美(52)楠小、伊藤淳子(55)野田小、太田朱美(57)伊勢山中  
 <転任> 今井利佳(60)城北小→如意小、北村亜希子(4)港南中→藤森中、近江公映(13)植田東小→二城小、坂井田紗矢(19)守山中→有松中、長坂真奈美(62)文科省→岡崎・矢作西小(教頭)、小川英里(16)豊橋・二川中→知多・中部中、本田玲未(20)一宮・大和中→一宮・北方中、岡村奈津美(25)豊橋・南部中→小牧・小牧中、  
 <新任> 丸山加那子(25)岡崎・美合小 浜田真衣 (29)高浜・南中  
 【講師】<転任> 横幕みゆき(59)香流小→梅森坂小、出井令子(62)愛知小→大須小、宮田靖子(4)山吹小→栄小、森佳美(10)田代小→猪子石小、戸田高嶺(22)春日井・柏原中→春日井・高森台中、柴田安悠(28)知立・八ツ田小→豊田・若園中、森本碧(28)岐阜・瑞浪中→岐阜・蘇南中、長谷部みのり(28)岐阜・富野中、板取川中→岐阜・(可児)中部中、  
 <新任> 中嶋美礼(29)春田小、日下光(29)千種台中、井上実優(29)東海・緑陽小、恒川なみ(29)江南・門弟山小、高原雪菜(29)一宮・尾西第三中、佐藤愛梨(29)知立・竜北中、田邊美織(29)岐阜・萩原南中、長谷川侑香(29)岐阜・笠松中、室谷真衣子(29)岐阜・谷汲中、荒尾淳美(29)滋賀・息長小、河南中

#### ＝編集後記＝

◆今年度は、本務教諭として2名、講師として20名の方が教員として赴任されました。ぜひ、子どもたちに好かれ、教職員に愛され、保護者・地域に喜ばれる先生になってください。会員の中には、授業実践や生徒指導、教育相談に長けた方、吹奏楽や合唱で上位入賞に導かれた方等、頼りになる先輩がいます。ぜひ夏の「めいおんの会」に参加してください。同窓・同職同士のつながりをつくるチャンスです。◆巻頭言を今回から3回にわたって、特任教授吉川範行先生に執筆していただきます。新学習指導要領を様々な角度から読み解いてまいります。(ゆ)